

SSHマレーシア熱帯林研修

日時 2016.1.9～17

参加生徒 1学年普通科2名、2学年普通科1名、2学年理数科1名

引率 本校教諭 1名

概要 実際に、種の絶滅や環境破壊といった生物多様性減少の問題が起こっているボルネオ島で、現存するメガバイオダイバーシティを目の当たりにしながら、熱帯林の生態系に関する講義、森林の調査方法や森林保全の取組を学び、現地高校生とそれを解決するためには何をなすべきかを議論してきました。サバ大学、オールセインツ中等学校の先生、専門ガイドのジョンさん、コーディネートしてくださった小菅さん、ホストファミリーの皆さん、ありがとうございました。

1.09 出発

1.10 キナバル国立公園にて樹木・草本・昆虫等の観察

1.11 メシラウ小学校で小学生対象サイエンス教室を開催

ポーリン温泉公園、蝶博物館にて低地熱帯林の植生と林冠観察

1.12 サバ大学訪問にて講義、標本庫見学、プレゼンテーション準備

オールセインツ中等学校にてホームステイ引き渡し式

1.13 ツアラン湿地にて現地高校生とマングローブの植林活動

コタキナバル湿地センターにてマングローブ林観察

クリアス半島にて川沿いの動物調査

1.14 サバ大学にて現地高校生と水分析等の実習、議論、講義

1.15 オールセインツ中等学校にてプレゼン発表、化学授業参加、環境問題班別討議・発表会（スカイプで日本の本校生徒と交流）、送別会

1.16 ホストファミリーと市内見学、帰国

1.17 到着

